

日交研シリーズ A-760
平成 30 年度共同研究プロジェクト
「自動車保険プロジェクト」
刊行：2020 年 1 月

シェアリングエコノミーと自動車保険
ービッグデータ時代と自動車保険ー
Sharing Economy and Automobile Insurance

主査：堀田 一吉（慶應義塾大学）
Kazuyoshi Hotta

要 旨

現在、欧米では急速にシェアリングエコノミー（共有経済）が進展して、経済社会システムが変わろうとしている。追従する日本では、シェアリングエコノミーは発展途上の段階であるが、ライドシェアや民泊の法改正を経て、利用者は若年層を中心に急速に広まりつつある。今後、さらに法的整備がなされ、人々の認知度が高まれば、広く普及すると思われる。

そうした状況において、シェアリングエコノミーの発展は、既存の保険システムに大きな影響をもたらす可能性がある。既に、自動車保険の分野において、シェアリングエコノミーに対応した保険商品が登場しており、補償内容についても拡充が進められている。シェアリングエコノミーの進展に伴って、保険業界には、既存の保険システムとの併存を意識しつつ、賠償責任を中心とした補償の空白部分を埋めるきめ細やかな対応が求められている。

本報告では、シェアリングエコノミーが保険業とりわけ自動車保険へ与える影響を中心に考察し、保険業界の対応について検討する。

キーワード：シェアリングエコノミー、保険業、一日型自動車保険、規制緩和、

Keywords : Sharing economy, Insurance Industry, One-day Type Automobile Insurance,
Deregulation